

「子育て」は「親育ち」

狭山市立入間川東小学校長 井上 健

本日はお忙しい中、就学時健康診断に参加いただきましたこと、大変感謝申し上げます。

コロナ禍の約3年間、外出もままならぬ中、私たちが切に考えさせられたことは、「命が一番大事であること」や「健康のありがたみ」ではなかったでしょうか。本日の健診を機に、お子様の健康状態を再確認していただき、5か月後の入学に備えていただければ幸いです。

さて、本日の健診は、保護者の皆様にお子様を誘導していただきます。以前は、5年生がお子様を誘導し健診している間に、保護者の皆様には「子育て講座」を受講していただきました。その時間は、30分程度の時間ではありましたが、自らの子育てを振り返る時間となっていました。私自身、子育ての忙しい時期には、つい目の前のことで精いっぱいとなり、落ち着いて自分の子育てについて考える機会が少なかったと反省しております。本日は、自らの子育てを振り返る一助として、私が以前受講した講座で、とても参考になる話を伺うことができたので、紙面に一部ではありますがお伝えしたいと思います。

その時の講師は、現在もご活躍をされている埼玉県子育てアドバイザーの関根トミ子先生でした。私も一人の親として大変、勉強になる内容でした。印象に残った言葉だけとなりますが、いくつか紹介させていただきます。

演題は「子供の豊かな心、やる気、たくましく生きる力を培ってあげよう!!」でした。

「子供に『愛され感』を持たせてあげて。」

「愛されている実感を持たせるためには、親が、子供に直接、関わることが大事。」

「子育てとは自立をさせること。」

「自立とは自分で考えること、判断すること、責任を取らせること。」

「心が育ってこそ、初めて人間になる。」

「スマホやゲームは、心を育てない。親との関わりこそ、心が育つ。」

「保護者は、子供のサポーター。できることはさせる。しかし、最初是一緒にやって、できるようになったら見届けることが大事。」

「失敗したときは『なんでうまくいかなかったかな』と原因を考えさせ、成功したときは『よくやったね、すごいね』と伝えてあげる。」

「子供のやる気や興味・関心を高めるのは、大人の関わり次第。」

「子供に、あえて簡単な仕事を与えて、

終わった後に『ありがとう』を伝える。」

「わが子をギュッと抱きしめてあげてください。」

関根先生は、おわりに

「参考になるものがあれば、一つでもやってみてください。」

「ぜひ、親ごさんが、子供の豊かな心、やる気、たくましく生きる力の基盤を培ってあげてください！」

と付け加えていました。

それと、関根先生の言葉の中に「スマホやゲームは、心を育てない。」というくだりがありましたが、実は、それに関係して非常に難しい問題が学校現場で起きています。子供たちが幼少の頃よりゲームやネット環境の中で生活していることが要因の一つとして、成長に支障をきたしているという事案です。

その中の一つが、基本的な生活習慣が定着しないということです。「早寝早起き朝ごはん」は生活習慣を定着する上においてのキーワードとなっています。しかし、夜遅くまでゲームや動画視聴、オンラインゲーム等で生活のリズムを崩している子が少なからずいます。十分な睡眠がとれないまま登校することによって、朝から不調を訴えてくるということもあります。「十分な睡眠」は、成長をつかさどる重要な要素の一つです。

また、オンラインゲームやSNS等の双方向の通信を行うことによって、大人の見えないところでのトラブルもあります。現在、学校では一人一台の学習用端末を貸与し、学習が進められ、オンライン環境についての約束事やマナーも含め指導しているところではありますが、ご家庭でも、オンラインゲームやネットに触れさせるような場合には、必ず保護者の責任の下、家庭でのルール作りの徹底と、保護者の見届けをお願いします。

話が飛びますが、表題の言葉は、私が6年生の担任の時、当時の保護者の方から、親デビューしたての私にかけていただいた忘れることのできない言葉です。その方は、「やっと親として12歳になりました。」と言って、「子供に親として成長させてもらっています。」と謙虚に話してくれました。

子育てを通して、私も親として、成長したいと強く思った次第です。

子の成長した姿の裏には、親の成長があるはずです。

親の成長なくして、子の成長なしです。

私が、新入生保護者の皆さんに直接お話しできるのは、令和6年2月7日水曜日に予定されている「入学準備説明会」です。その際には、本校の教育活動についてもお話をさせていただきます。本校のホームページも参考になりますので、お時間がある時に見ていただければと思います。



封筒内にある社会教育課配布資料「子どもを健やかにほぐくむために愛の鞭（むち）ゼロ作戦」（厚生労働省作成）は、子育てについて振り返ることのできる資料ですので、参考にしてください。